

## CONTENTS

### 特集

# 1 園長を軸に考える 若手保育者の採用と定着

## 2 インタビュー

保育者が続けられる環境を整えると  
保育の質もおのずと高まる

玉川大学教授・四季の森幼稚園園長 若月芳浩

## 8 若手保育者座談会

私たちが働いた園の  
「ここがよかった」「ここが大変だった」

## 12 園の取り組み事例

RISSHO KID'S きらり岡本（東京都・私営）

### データ紹介

## 16 ~ Cedep・ベネッセ合同調査より~

父親も含めて家庭と連携し、  
認知・非認知能力をバランスよく伸ばす環境づくりを

解説 大阪教育大学教授 小崎恭弘

本誌をお手に取っていただき、ありがとうございます。

今号の特集は、本誌の読者アンケートに多くのご要望が寄せられた「保育者の採用と定着」をテーマとして取り上げました。「保育者の定着・確保」と「保育者の資質の維持・向上」は、ベネッセ教育総合研究所が実施する「幼児教育・保育についての基本調査」でも、園種を問わず保育実践上・運営上の課題として上位に挙がっており、改めて関心の高さを感じます。安定した組織体制のもとで園を運営するために保育者の資質の維持・向上は必須であり、その大前提となるのが保育者の採用と定着です。今号では特に若い世代の保育者に着目し、座談会形式で率直な声も取り上げました。そうした中から、次世代を担う保育者たちの思いを感じていただけたらと思います。

ぜひ、多くの先生方にお読みいただき、園でのお取り組みに少しでも役立てていただけることを願っています。

「これからの幼児教育」編集部

### STAFF

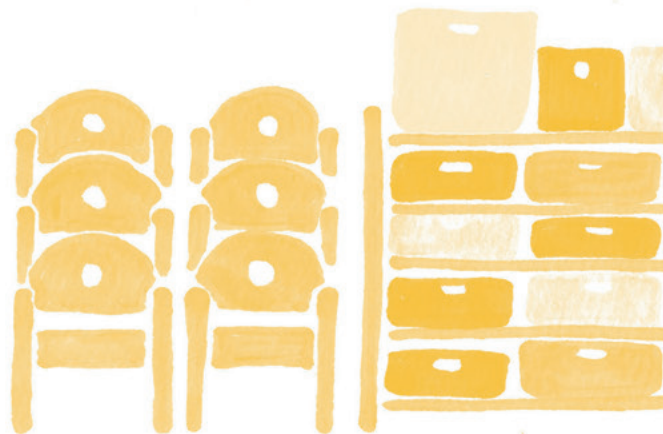
編集発行人／西村俊彦 発行所／(株)ベネッセコーポレーション  
印刷製本／凸版印刷(株) 監修／北野幸子(神戸大学大学院教授)  
企画・制作／仙田由紀子(ベネッセ教育総合研究所)  
編集協力／(有)ペンダコ、丹羽三千代、菊池健(mananico)、神田有希子  
執筆協力／二宮良太  
表紙＋特集扉デザイン・イラスト協力／へんな優


※本文中のプロフィールはすべて取材時のものです。

また、敬称略とさせていただきます。

※本誌掲載の記事、写真の無断複写、複製及び転載を禁じます。

©Benesse Corporation 2022



An illustration in a warm, orange-toned style. At the top, three people are seated around a table. On the left, a woman in a white apron over a dark shirt sits with an open book and a pen. In the center, a man in a dark shirt sits with a tablet and a mug, gesturing with his hand. On the right, a woman in a white apron over a dark shirt sits with a laptop and a mug. Below them, a potted plant sits on the floor. In the bottom section, two people are seated at a table, viewed from behind. The person on the left is a woman in a white apron holding a tablet. The person on the right is a man with glasses in a dark shirt, also holding a tablet. The table has a calculator, a mug, and some papers. The background shows a shelf with boxes and a desk with a pen and papers.

# 園長を軸に考える 若手保育者の 採用と定着

20世紀末から始まった少子化の波はとどまるところを知らず、入園児数が年々減少し、園の統廃合が進む地域もあるといます。初期の少子化の波を受けた若手保育者世代も、母体となる人口が減少していることも影響して保育者のなり手が減り、当面、売り手市場が続くことが予測されています。

そうした社会で園を運営していくためには、園が若手保育者にとって魅力的な職場環境であり続けることが重要です。魅力的な職場環境づくりは、必ずや人を育む場である園の保育の質向上にもつながっていくでしょう。今号では、識者の解説、若手保育者の声、園の実践事例から、そのヒントを考えていきます。